



発行所
東京医科大学同窓会

〒160-0023
東京都新宿区西新宿6丁目7番地1
電話 (03) 3342-6111 (大代) 内線5375
tmcdoos@tokyo-med.ac.jp

編集人 勝村俊仁
発行人 高山雅臣

毎月1回 15日発行
送料共1部100円
年間1,000円

第62回卒業式

希望に満ちて114名巣立つ

井正彦理事長・学長、他多数教授、教職員、卒業生ご家族列席のもと、114名の新医学士誕生を祝った。

開式の辞、国歌の斉唱に続き、臼井理事長・学長から式辞(別掲)が述べられた後、卒業生一人一人に卒業証書・学位記が授与された。

羽生田俊参議院議員、島津元秀教授代表からの祝辞に続いて、在学生代表土屋雅君の送辞、卒業生総代須長正貴君の答辞があり、卒業生代表伊藤祐太君から大学へ記念品が贈呈された。

第62回卒業式が、去る3月1日(土)午前10時30分から東京医科大学記念会館にて挙行され、白

最後に校歌を斉唱し、閉式の辞により卒業式は終了した。



卒業生氏名

- 青木登志将、安部美由紀、阿保彰寿、池部裕寧、石井絢子、一宮匡、伊藤祐太、岩城敬博、岩佐宜彦、植草朋子、上田元、植松望武、宇佐美欽通、氏家淳、内海卓也、有働竜太郎、梅田和敬、大木健太郎、大久保芳彦、太田陽大谷慎也、岡田寿郎、岡本充史、小川悠樹、小川麻里奈、小倉瑛里子、小倉庸平、小柳美里都、尾山夏穂、嘉数昇達、賀来哲明、金子義嗣、金丸晃大、加納正樹、上妻千明、岸田さなえ、木村淳史、熊井健人、黒田祐子、郡司崇裕、小西浩之、小林賢礼、小鮎聖子、小森悠矢、近藤有一郎、齋藤優、齋藤円佳、定月穂、佐藤俊一、茂原富美、清水宣博、末永祐太、鈴木香菜、鈴木沙織、鈴木知生、鈴木雄太郎、鈴木礼美、須田和華子、須長正貴、高須綾香、高橋秀幸、武義基、竹野下尚仁、田中英

辞 式 医師における奉仕の精神 理事長・学長 臼井正彦



東京医科大学を巣立つ114名の皆さん、ご卒業誠にめでたくございます。早春の良き日に、多くのご来賓の皆様とともに62回目となる卒業式を挙行できますことは、本学全職員にとって大きな喜びであります。

皆さんは本学における医学科のすべての教科を修了し、医学士となりました。この6年間の膨大な量の医学の学習によく耐え、真摯に学んできた皆さんを心から労いいたいと思います。同時に、これまで皆さんを支えて来られたご父母をはじめご家族の皆様にも、心から感謝の意とご卒業に對し心から御祝いを申し上げます。

皆さんはこれから医学・医療という大海に漕ぎ出していくこととなります。そこは晴れの日はかりでなく、嵐もあり困難に立ち向かっていかなければならない日があることも現実です。しかし、いつでも皆さんの心の底にはわが大学の校是である「正義・友愛・奉仕」

(高齢総合医学)

ながお かずひろ 長尾和宏客員教授



私は昭和59年に東京医大を卒業し、大阪大学第2内科に入局しました。消化管ホルモンに関する研究にて学位を頂いた後、市立芦屋病院勤務を経て尼崎市で開業。現在は外来診療と在宅医療に従事しています。東京医大在学中は社会医学研究会と準硬式野球部に所属。年3回は、長野県下伊那郡浪合村で無医地区活動に従事。大学祭などではプライマリケアや終

末期医療などの企画をしていましたが、現在も相変わらずその延長線上で活動しています。

このたび、高齢総合医学講座の羽生春夫主任教授より客員教授に御推薦賜り身に余る光栄に存じます。これまでの経験を活かして在宅医学、地域包括ケア、エンドオブライフケアなどの分野で、東京医大の発展に微力ながら貢献できれば幸いです。未熟ものですがご指導のほどよろしくお願ひ申し上げます。

略歴

昭和59年3月 東京医科大学卒業
昭和59年5月 大阪大学

第2内科入局、聖徳病院勤務

平成3年6月 市立芦屋病院内科勤務

平成7年7月 尼崎市で

(整形外科学)

つちや かずあき 土谷一晃兼任教授



この度、山本謙吾教授のお心配りで、東京医科大学整形外科で診療のお手伝いをさせて頂くことになりました。本紙面をお借りし、一言ご挨拶申し上げます。

私は昭和53年に東邦大学医学部を卒業し、平成23年より東邦大学整形外

開業

平成24年 関西国際大学

客員教授

平成26年1月1日 現職

科学講座の教授を務めさせて頂いております。東京医科大学整形外科とは三浦幸雄教授の代から大変親しくお付き合いさせて頂いており、光栄に存

人事

平成25年8月31日

◎大学

退職 助教

国際医学情報学

野田千糸里

◎大病院

退職 講師

内科学1 後藤明彦

退職 助教

神経内科学 大塚敬男

麻醉科学 久保田愛子

皮膚科学 久保田謙康

委嘱解除 兼任助教

平成25年9月1日

◎大学

採用 講師

生化学 平本正樹

採用 助教

国際医学情報学

ポピュラーヘルナ明子

委嘱 兼任助教

国際医学情報学

Conde Christopher

Jason

◎大病院

採用 助教

内科学3 木村英里

神経内科学 井上文

伊藤 傑

よだいくし 依田育士客員教授



私は情報工学の中でも画像認識、コンピュータビジョンを専門分野として長年研究してきました。その専門を活かして、救急医学講座の方々と、ER内におけるチーム医療の解析とその教育手法について5年以上共同研究に取り組んでいます。また、災害医療における効果的な訓練方法と教育手法に関しても本格的な共同研究を開始したとこ

ろです。救急医学講座は研究や教育に対して外部に開かれており、初めて本学を訪れたときに驚いたことを今でも覚えています。また、それが長年に渡る共同研究の原動力になったと感じています。

現在、医療者だけでなく、一般の人々をも対象とした救急医学と災害医学の教育に関する研究成果が出つつありますので、客員教授としてその発展・普及に努めていきたいと思えます。

略歴

平成2年3月 東京都立科学技術大学工学部卒

業

平成4年3月 同 大学院工学研究科修士課程

修了

平成4年4月 電子技術総合研究所知能情報部

研究官

平成12年4月 同 主任

研究官

平成13年4月 組織再編に伴い産業技術総合研

究所主任研究員

平成14年11月 博士(工学)

(東京大学大学院工学系研究科)取得

平成17年4月 筑波大学

連携大学院システム情報工学研究科准教授

(兼任)

平成20年4月 同 教授

(兼任)

平成26年1月1日 現職